

Parent's Guide



音声ファイル・日本語訳
ダウンロードはコチラから



Bob Books の世界へようこそ！

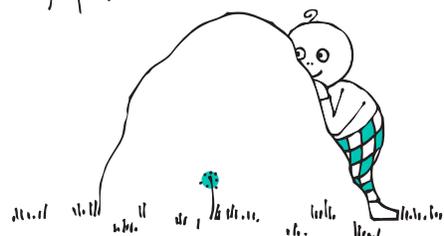
1. 本を読む前に…

ゆっくり時間をかけ、これから読む本では何を学ぶことができるかをしっかりと子どもと共有しましょう。各セットにはフラッシュカードが含まれており、絵本に登場するキャラクターや単語、キーセンテンスなどを事前に確認することができます。十分に準備を整えることで、子ども達はこれから始まる読書に対して自信をもって、心地よく向き合うことができます。



2. 本を読んでみよう！

Bob Books の絵本は、子ども達が1人で読めるようになることを目標として作られています。リーディングスキルを段階的に上げていくためには、細かくレベル分けされた絵本を順番通り読んでいくことが効果的です！すぐに読めるようになる子もいれば、1人で読めるようになるまで時間がかかる子もいます。



温かいサポートとたくさんの励ましの言葉を掛けましょう。お手本になるよう読んであげたり、復唱しながら進めたり、一緒に読んでみたり…やり方は様々。最も大切なことは、“その子”にとっての最適な方法を見つけてあげることです。絵本を楽しみ慣れ親しむため、お気に入りの1冊から自由に始めるのもOK！焦らないで！子どもと一緒にゆっくり進んでいきましょう。

3. 本を読んだ後に…

本棚にしまう前に読んだ内容について子どもと話をしましょう。「どんなお話？」「キャラクターはどんな気持ちだと思う？」「楽しかった？どうしてそう思う？」などなど。様々な質問を投げかけ会話をすることで、本に対する興味と理解を深めましょう。

読み終えたら自由に色塗りをして楽しもう！世界に1つだけのオリジナル絵本を作っちゃおう！

また、語彙力アップ & 言葉の定着を促すため、フラッシュカードも活用しましょう。全ての子ども達は、持って生まれた自身の方法で理解し、身に付けた単語や表現方法で“オリジナルデータベース”を築き上げます。他の子どもと比較する必要はありません。まずは、私達親世代が肩の力を抜いて、柔軟な考えを持ち、子ども達の学びのスタイルを受け入れていきましょう。子ども達の目標のため、親の思考の進路変更も大切なカギとなることもあります。



ホームレッスンを始めよう！

1. アクティビティを取り入れよう！

幼い子ども達にとって、じっと座っていることは簡単なことではありません。レッスンを始める前に体を動かすことで、読書をしている間の集中力を保ち、学習に対する姿勢の向上にもつながります。公園に行ったり、散歩をしたりすることはレッスンを始める前のアクティビティに最適です。

2. 母音の音を確認しよう！

英語を学習する中で、聞き取ることが最も難しい言われる文字、“母音 (a,i,u,e,o)” 。事前にこれらの音を確認することは大変重要です。読書を始める前に、フラッシュカードを使い発音の練習をしましょう。新しく登場する単語の“短母音”の音を認識できるよう、声に出して行いましょう。

3. 繰り返して上達！

新しい言語を学ぶときは、反復することが効果的です。これは、子ども達の発語スキルにおいて、イントネーションやなめらかな上達の大きな助けとなります。

4. 本の内容を深く考えよう！

読書の途中で一旦止まって、内容について子どもに尋ねることは理解を深めるために大変効果的です。「これは誰？」「これは何の文字？」など、様々な質問をしながら進めることが集中力や理解力の向上につながります。

5. 短母音ビンゴ！

新しい単語の習得や、短母音の“音”の認識力アップのために、6ページの“短母音ビンゴ”を活用しよう！子ども達の大好きなビンゴで楽しく学ぼう！



ホームレッスンでフォニックスの更なる発展！

単語を声に出して発音することは、子ども達が英語を読めるようになるために大切なレッスンの1つです。基本的な単語を1つ1つ学ぶことが、将来複雑な文章を理解することへとつながります。それぞれの文字が表す音を学び、そしてそれらの音を織り交ぜた言葉を身に付けていきます。短母音を含む一貫した単語からなる各絵本を通して、しっかりとしたリーディングスキルを築きましょう。

1. Short Vowel Sounds – 短母音の入った単語を覚えよう！

それぞれの絵本は、短母音を用いた単語をメインに作られています。子どもと一緒にそれらを声に出して読む練習をしましょう。各絵本の巻末には、本の中で登場する単語のリストがあります。物語を読み始める前に発音練習をすることで、自信を持って読書に取り組むことができます。

- ・発音することが難しい場合は、ゆっくりはっきりと発音し、繰り返し練習しましょう。書かれている文字がどのような音を表すか、子どもの理解度を確認しながら進めましょう。口の動きをお互い確認しながら行うと効果的です。

2. Read – 読んであげよう！

新たな単語を学んだら、それらがどのように使われるかを確認することが重要です。まずは、絵本を読んであげましょう。ダウンロードオーディオを活用することも効果的です。

1人で読める子どもには、「読んで聞かせてくれる？」と音読を促しましょう。温かいサポートを加えながら、1人1人に合ったスピードで進めることが大切です。

- ・理解を深め、喜びを高めるために、絵本で使われている文章の意味や、感情について子どもとよく話をしましょう。
- ・“apple”の“a”、“elephant”の“e”、“inchworm”の“i”などの短母音の発音をマスターしよう。
- ・子音の発音も母音と同じように練習しましょう。例えば、“m-m-moon”や“t-t-table”などなど、繰り返し行いましょう。
- ・絵本で使われている言葉は巻末に記載されています。ワードファミリーごとに分けられているので、読み終えた後の振り返り学習に最適！リーディングスキルをさらに伸ばそう！サイトワード (Sight Words) も身近に感じられるようたくさん読む練習しましょう。

3. Practice – 練習しよう！

絵本の中で見つけた、短母音を表す文字や単語を実際に使ってみよう。

- ・まずは、子どもと一緒に絵本を読んでいきましょう。
- ・音読中、ランダムにストップして登場する単語やイラストについて質問をしましょう。

例えば、「この音は、どの文字のものかな？」「この単語を読めるかな？」「この絵は何だろう？どの単語かな？」などなど。これらの質問は、内容の理解を深めるだけでなく、単語力やリーディングスキルの強化につながります。



ホームレッスンで子どもと学ぶ“フォニックス”！

“Bob Books Early Readers”は、フォニックスの知識を増やし、リーディングスキルを伸ばす単語力を身に付けるのに最適です。楽しくて愉快的絵本の魅力を最大限に生かすため、シンプルで楽しい学習の手引きで一歩一歩着実にリーディングスキルを身に付けていきましょう。

1. 読書を始めよう！

読書の準備ができれば、Book 1 “Fun in the Sun”から始めましょう。

2. 心地よい場所を見つけよう！

子どもと一緒に座って、リラックスできる快適な場所で読みましょう。

3. 単語をなぞろう！

左ページから右ページへと、文章を指でなぞりながらゆっくりと読み進めましょう。

4. さあ、始めよう！

Book 1 “Fun in the Sun”と一緒に読んだら、3ページへ Go!

これらの単語はもう読めるかな？1人で読める子どもには文章を読んでもらいましょう。サポートが必要な場合は、一緒に読みましょう。まずは、短母音の入った単語を読んでみましょう。“sun”と“hot”から発音の確認をします。このプロセスを繰り返し、残りのページも読み進めていきましょう。

5. 分かるかな…？

最後まで読んだら、本の内容や単語について質問をしながら話をしましょう。

例えば、「このキャラクターは誰？」「この人達は何をしているのかな？」「“a,i,u,e,o”が入った単語はどれかな？それはどの音？」などなど。

6. 1人で読んでみよう！

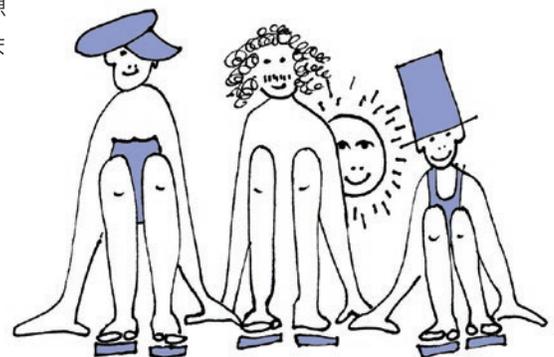
一緒に最後まで読んで内容の理解ができれば、1人で読むことにチャレンジ！たくさんの励ましの言葉と少しのサポートでゴールを目指そう！

7. できた！

1冊読めたら一旦休憩！おめでとう！

・セット内の全ての絵本が読めるようになることを目指して、繰り返し練習しましょう。完璧に読めなくても、読むのがゆっくりでも、同じ本を繰り返し読んでも OK！子どもの頑張りをたくさん褒めてあげましょう！

・最後まで読むことが難しい子どももいます。大丈夫。途中で休憩しても OK。また戻ってきて最後まで読めるよう励ましてあげましょう。「また明日読もうか。」も大切な一言です。



楽しくリーディングスキルを築く8のヒント！

本を読めるようになるには、やさしく楽しくあるべき！著者の Bobby Maslen 先生による、子どもと楽しむ読書のヒントをチェック！

1. “楽しむ” 読み聞かせ！

親も子どもも楽しめる物語やイラストの本を選びましょう。子どもの年齢に適する本を選ぶことが大切です。何より、読み手が本を選ぶことが重要です。

2. 言葉遊びに挑戦！

子ども達と一緒に“A”から始まる動物の名前を考えよう！順番で、全てのアルファベットに挑戦してみよう。難しいときはサポートしながら楽しく進めましょう。

3. 名前のアルファベットが分かるかな？

壁や冷蔵庫にアルファベットを貼り付けよう。子どもに名前の頭文字を聞いてみよう。「“Mary”の“m-m-m”はどこかな？ほら見つけた！やったね！」などの会話をしながら、正しい文字を見つけられるよう進めましょう。頭文字を見つけたらその他の文字も見つけてみよう！

4. アルファベットブロックを使おう！

アルファベットブロックやタイルを使って短い単語を作ってみよう。慣れてきたら短い文章にチャレンジ！

5. 文字を“歩こう”！

白いチョークを使って、地面に大きくアルファベットを書きます。いくつかのアルファベットを発音しましょう。そのアルファベットを見つけたらその上を歩いてみよう。短い単語を発音し、そのスペルの上を歩けるかな？

6. たくさん褒めよう！

上手に本を読めたり、絵をキレイに描けたりした時など、子ども達の頑張りをたくさん褒めてあげましょう。声に出して褒めてあげることが大切です。

7. 手や指先の器用さを伸ばそう！

オモチャのクルマを走らせられるようなロードマップを描きましょう。体の中心を通るライン（正中線）を意識してクルマを動かしてみよう。正中線をクロスする（Crossing the Midline）動きとは、例えば右手を使って左肘を掻くなど、体の片側から反対側に体の一部を交差させることを指します。体の両側を同じように動かすためにとても重要な運動能力の1つです。スポーツをする時だけでなく、絵や文字を描く（書く）などの細かい運動能力を養うためにも大切な動きです。

8. たくさん遊ぼう！

砂や水に触れたり、ブランコや滑り台など様々な遊具で遊んだり…、お家の中でも外でも子ども達と一緒にたくさん遊みましょう。読書を進める中で、これらの遊びは本の理解度を高めるための実りある経験となり、リーディングスキルをさらに伸ばすことにつながります。

Short Vowel Bingo

短母音ビンゴ

ビンゴシートに書かれた短母音が入った単語を、本の中から選び枠内に書きましょう。

例) “and”“had”“hat”“sat”“had”などを“Aa”の列に記入

このように全ての枠に単語を書きます。同じ単語を繰り返し使っても OK です。

フラッシュカードからランダムに1枚選び、書かれた単語を読み上げましょう。

読まれた単語がビンゴシートに書かれていたらそこに印をし、先に5マス埋めた人の勝ちです。

繰り返しできるよう、このシートはコピーして使いましょう。

Aa	Ee	Ii	Oo	Uu